

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』

～新たな産業集積と地球温暖化対策の両立を図りながら、

真に豊かな「富県宮城」の実現を目指す取組～

平成21年7月

宮 城 県

<目 次>

■村井知事からのメッセージ < “クリーンエネルギーみやぎ” 宣言 >	2 頁
■『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』の概念図① < 目指す姿と 4 つの取組の視点 >	3 頁
■『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』の概念図② < プランの位置づけと 4 つの取組の内容 >	4 頁
■取組 1　クリーンエネルギー関連産業集積 “加速化” プラン	5 頁～ 6 頁
■取組 2　クリーンエネルギー利活用促進 “倍速化” プラン	7 頁～ 10 頁
■取組 3　クリーンエネルギー社会の明日を開拓する “先駆け” プラン	11 頁
■取組 4　クリーンエネルギー社会の未来を育む “架け橋” プラン	12 頁

ともにこの宮城から 全国に吹き渡る“緑の風”を興そう！

- 地球温暖化対策は、全ての国・地域がこれまで以上に真剣かつ積極的に取り組まなければならない、現在の私たちを取り巻いている最も大きく切実な課題であると考えています。
- 米国においては、“グリーン・ニューディール政策”が提唱され、我が国でもこれまで以上にクリーンエネルギーの利活用の促進、環境関連産業や技術開発を振興・支援していくための政策が、大きく打ち出されようとしております。
- 宮城県では、これまで、いち早く“環境立県みやぎ”を宣言し、地球温暖化防止活動推進員や環境教育リーダーによる実践活動をはじめ、昨年6月には官民を挙げて「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議を設立するなど、幅広い取組や県民運動を展開してまいりました。また、今年度からは、全国に先駆けて県民の皆様がクリーンエネルギーカーや太陽光発電システム等を購入・導入される場合に助成を行う等の積極的な施策も実施してまいりました。
- 一方、産業振興の面では、本県においては、自動車関連産業や高度電子機械産業等の集積が進み、新たな飛躍に向けた条件整備も徐々に整いつつあります。このような時代の要請の中で、その役割に注目が集まり、将来性も大いに期待されているのが、ハイブリッド車・電気自動車、太陽光発電・燃料電池等々の、いわゆる「クリーンエネルギー」に関連する産業分野です。これらの産業分野は、これまで進めてきた産業集積と大きな相乗効果が見込まれる分野でもあり、また将来的には、本県の“ものづくり産業”の新たな大きな柱になっていくものと確信しております。
- 現在、宮城県では、「富県共創！活力とやすらぎの邦づくり」を県政運営の理念として、県民の皆様や企業の皆様が将来にわたり満足を感じられるよう、「安心と活力に満ちた地域社会づくり」に取り組んでおります。そのためには、経済・社会の持続的発展と環境保全が、ともに達成されるような取組が不可欠であると考えております。
- 今般、本県としてさらなる飛躍を図り、環境と経済が両立した真に豊かな“富県宮城”の実現を目指していくため、新たな産業集積と地球温暖化対策を同時に追求する県自らの“アクションプラン”として、『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』を策定いたしました。
- 県では、このプランに基づき全国に先駆けた取組にも率先して挑戦してまいります。県民の皆様や企業の皆様におかれましても、是非この趣旨にご賛同をいただき、ともにこの宮城から全国に吹き渡る“緑の風”を興しましょう。

平成21年7月

宮城県知事 村井嘉浩

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』の概念図① <目指す姿と4つの取組の視点>

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』

【基本理念】新たな産業集積と地球温暖化対策の両立を図りながら、真に豊かな「富県宮城」の実現を目指す取組

〔現状・課題〕

◇地球温暖化対策は、全世界で、これまで以上に真剣にかつ積極的に取り組まなければならない喫緊の課題に。

◇米国では“グリーン・ニューディール政策”が提唱され、我が国においても、クリーンエネルギーの利活用の促進、環境関連産業や技術開発を振興・支援する政策が次々に実施へ。

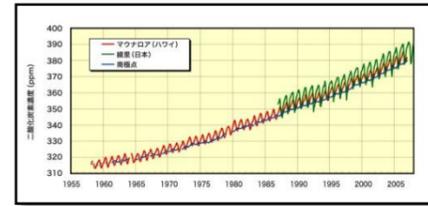
◇本県では、いち早く「環境立県みやぎ」を宣言し、昨年から「ダメだっちゃ温暖化」宮城県民会議を立ち上げるなど、官民を挙げて実践活動や県民運動を展開してきているが、現状を踏まえるとさらに積極的な地球温暖化対策が必要。《関連データ》

- ・ 県内の二酸化炭素排出量は年々増加傾向。
(16,426千トン(1990) → 22,340千トン(2005))
- ・ 特に、民生家庭部門、民生業務部門、運輸部門で二酸化炭素排出量の顕著な増加。

◇一方、近年、本県では、自動車関連産業や高度電子機械産業等のものづくり産業（製造業）の大型立地が進み、これを契機として新たな産業集積に向けた条件整備が加速。

◇真に豊かな「富県宮城」の実現のためにも、経済・社会の持続的発展と環境保全の両立が必須課題であり、本県としても直ちに行動を起こす好機。

図1：大気中の二酸化炭素濃度の経年変化(1957～2007)



出典：気候変動監視レポート2007

図2：「ダメだっちゃ温暖化」ロゴマーク

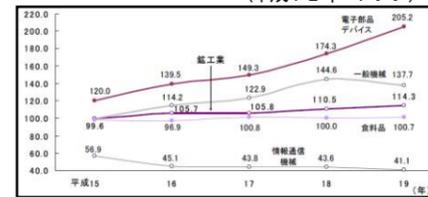


図3：宮城県内における温室効果ガス排出量の推移



出典：宮城県調べ

図4：宮城県鉱工業生産指数の推移 (平成12年=100)



出典：平成20年度版宮城県社会経済白書

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』 == 4つの取組の視点 ==

【視点1】

■自動車関連産業や高度電子機械産業等の集積が進んでいる今だからこそ、この機会を逃さず、さらに本県のものづくり産業（製造業）の基盤を強化し、広げていくための取組が必要である。

→取組1：クリーンエネルギー関連産業集積“加速化”プラン

↑ ↓

【視点2】

■官民・地域を挙げて、太陽光発電等クリーンエネルギーの利活用を一層促進し、本県として地球温暖化対策にさらに積極的に取り組む必要がある。

→取組2：クリーンエネルギー利活用促進“倍速化”プラン

↑ ↓

【視点3】

■クリーンエネルギーの利活用方法等をさらに開拓していくため、産学官の連携・協働等により、率先して先導的な取組に挑戦していく必要がある。

→取組3：クリーンエネルギー社会の明日を開拓する“先駆け”プラン

↑ ↓

【視点4】

■次世代が、クリーンエネルギー社会を着実に担っていけるよう、必要となる環境教育や人材育成がしっかり行われる仕組みづくりをしていく必要がある。

→取組4：クリーンエネルギー社会の未来を育む“架け橋”プラン

〔目指す姿〕

◎時代の要請の中で、その役割や将来性が大きく期待されている「クリーンエネルギー関連産業」の集積及び振興を図ることによって、本県の産業基盤をより一層強固なものにする。

◎県、県民、県内企業、地域が一丸となって、太陽光発電等クリーンエネルギーの利活用を積極的に行うことにより、全国における地球温暖化対策の取組をリードする。

◎先導的なプロジェクトに果敢に取り組み、クリーンエネルギーの利活用促進等に資する実証や成果を創出し、来るべきクリーンエネルギー社会の実現に貢献する。

◎クリーンエネルギー社会が明るく輝かしい未来であるために、本県から、次代を担う人材の輩出や挑戦が、次々に起こり広がっていくような仕組みを構築する。



※クリーンエネルギー関連産業の集積促進や利活用の推進に県を挙げて積極的に取り組むことにより、環境と経済が両立した、真に豊かな地域社会をつくる。

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』の概念図② <プランの位置づけと4つの取組の内容>

=== 「クリーンエネルギーみやぎ創造プラン」の県の施策上の位置づけ ===

○「宮城の将来ビジョン」(H19年3月策定) = “富県共創! 活力とやすらぎの邦づくり”

→第1節 富県宮城の実現～県内総生産10兆円への挑戦～

→1 育成・誘致による県内製造業の集積促進

→ **取組 1 地域経済を力強くけん引するものづくり産業(製造業)の振興**

→第3節 人と自然が調和した美しく安全な県土づくり

→1 経済・社会の持続的発展と環境保全の両立

→ **取組 2 7 環境に配慮した社会経済システムの構築と地球環境保全への貢献**

※1 本プランの県の施策上の位置づけは、この「取組1」と「取組2 7」を具現化するための、主として「クリーンエネルギー」に的を絞った、産業集積及び利活用促進を目指すための、県自らの“アクションプラン”。

※2 本プランに基づく県の実行動及び施策展開は、平成21年7月から概ね3年程度を見込み。

『クリーンエネルギーみやぎ創造プラン』

【基本理念】 新たな産業集積と地球温暖化対策の両立を図りながら、真に豊かな「富県宮城」の実現を目指す取組

(～クリーンエネルギー関連の産業集積や利活用のより一層の促進・推進のために、川上から川下までを視野に入れて、県を挙げて取り組む緊急行動計画～)

取組1：クリーンエネルギー関連産業集積“加速化”プラン

■産業集積を“促進する”

→本県のものづくり産業を力強くけん引する企業を積極的に誘致し、新たな産業集積を促進。

■ビジネスを“振興する”

→技術開発、取引拡大、人材育成等の積極支援によって、本県における環境関連産業・ビジネスをより一層振興。

具体のアクション +α

- 1 クリーンエネルギー関連企業誘致プロジェクト
- 2 メガソーラー創設加速化プロジェクト
- 3 「エネルギーデバイス関連製品取引拡大」プロジェクト
- 4 宮城発「クリーンエネルギー製品」スタートアップ支援プロジェクト
- 5 環境産業振興セミナー、商談会等の実施
- 6 太陽光パネル設置人材の養成 +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組2：クリーンエネルギー利活用促進“倍速化”プラン

■県自らが率先して“行動する”

→公用車や県有施設等の省エネ・エコ化に向けて、県自らが率先して行動。

■県民の率先行動を“応援する”

→県民のハイブリッド車や太陽光発電等の購入・導入等を積極的に応援。

■企業の率先行動を“支援する”

→県内事業所等(全ての産業部門)におけるクリーンエネルギーの利活用や設備導入等を積極的に支援。

■地域の率先行動と“協働する”

→圏域、市町村、商店街等、地域における率先行動と積極的に協働。

具体のアクション +α

- 7 「公用車のエコ化」推進プロジェクト
- 8 「県有施設のエコ化」推進プロジェクト
- 9 「クリーンエネルギーカー普及促進加速化」プロジェクト
- 10 「住宅用太陽光発電普及促進」プロジェクト
- 11 「民生用燃料電池普及促進」プロジェクト
- 12 業務用トラック等「エコ化」促進プロジェクト
- 13 県内工場・事業所「太陽光発電普及促進」プロジェクト
- 14 「クリーンエネルギー製品導入促進」プロジェクト
- 15 ソーラー電牧普及活用支援プロジェクト
- 16 木質バイオマス利活用プロジェクト
- 17 「くろかわ地域循環圏」クリーンエネルギー実証プロジェクト
- 18 「地域まるごとエコ化」支援 +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組3：クリーンエネルギー社会の明日を開拓する“先駆け”プラン

■全国に先駆けて次々に“挑戦する”

→産学官連携や商社・企業等との協働によって、クリーンエネルギーの利活用方法を開拓、広げていくために、先導的なプロジェクトにも積極果敢に挑戦。

具体のアクション +α

- 19 「県内事業所エコ化・コスト削減」特別支援プロジェクト
- 20 「県内版排出量取引制度」創設プロジェクト
- 21 「分散型エネルギーモデルタウン」プロジェクト
- +α 「〇〇〇〇〇」プロジェクト
- +α 「〇〇〇〇〇」プロジェクト

取組4：クリーンエネルギー社会の未来を育む“架け橋”プラン

■未来に繋がる賑わいを“創出する”

→クリーンエネルギー社会の実現に向けて、夢ある取組や学校教育との連携を推進し、未来に繋がる賑わいを積極的に創出。

具体のアクション +α

- 22 「クリーンエネルギー・ハウス」の創設
- 23 「クリーンエネルギー」をキーワードにした体験・学習機会等の創出・推進
- 24 電気自動車等の競技会等の本県への誘致、支援 +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト +α「〇〇〇〇〇」プロジェクト

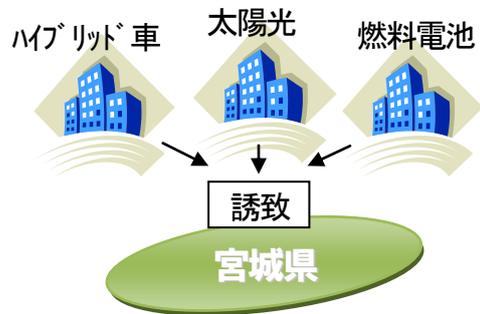
取組1 クリーンエネルギー関連産業集積“加速化”プラン

(1) 産業集積を“促進する”

アクションNO.1 クリーンエネルギー関連企業誘致プロジェクト

<内容>

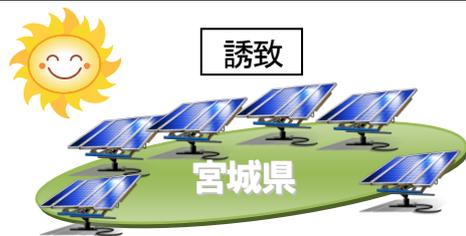
時代の要請の中で、その役割や将来性が大きく期待されている、ハイブリッド車、電気自動車、太陽光、燃料電池等の開発・製造に関わるクリーンエネルギー関連産業の企業誘致に積極的に取り組み、本県のものづくり産業（製造業）の基盤をより強固にしていくとともに、集積をより一層促進します。



アクションNO.2 メガソーラー創設加速化プロジェクト

<内容>

クリーンエネルギーの導入促進にインパクトの大きい電力会社や商社等が進めるメガソーラーの本県への誘致を積極的に進めるとともに、支援制度の創設を検討します。



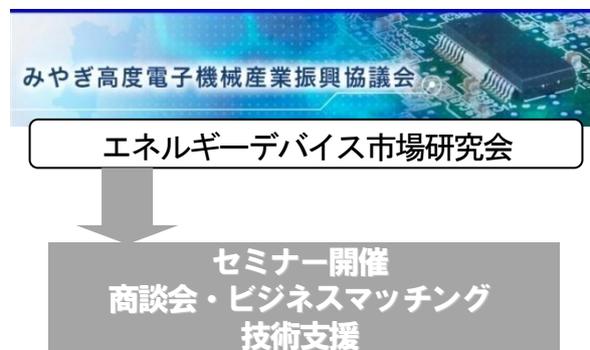
(2) ビジネスを“振興する”

アクションNO.3 「エネルギーデバイス関連製品取引拡大」プロジェクト

<内容>

みやぎ高度電子機械産業振興協議会にエネルギーデバイス市場研究会を設置し、関連製品の取引拡大を支援します。具体的には、

- ①市場・業界等の理解を深め、新規参入等を支援するためのセミナーの開催
- ②ビジネス機会を提供し、取引創出・拡大等を支援するための商談会・ビジネスマッチングの実施
- ③技術開発や技術高度化の取組を支援していくため、県産業技術総合センター・KCみやぎ推進ネットワークによる支援を積極的に行います。



【備考】

H21 取組開始

取組2 クリーンエネルギー利活用促進“倍速化”プラン

(1) 県自らが率先して“行動する”

アクションNO.7「公用車のエコ化」推進プロジェクト

<内容>

公用車にハイブリッド車を積極的に導入することにより、「公用車のエコ化」を推進します。



知事公用車（ハイブリッド車）

【備考】

H21 取組開始

アクションNO.8 「県有施設のエコ化」推進プロジェクト

<内容>

県有施設へのE S C O（Energy Service Company）事業の導入や、照明・冷暖房等保有設備の省エネルギー化を積極的に行うことにより、「県有施設のエコ化」を推進します。



宮城県大崎合同庁舎（太陽光発電 80kW）

【備考】（E S C O事業の導入）

H21 : 導入開始〔県がんセンター〕

: 提案募集〔県図書館〕

(2) 県民の率先行動を“応援する”

アクションNO.9「クリーンエネルギーカー普及促進加速化」プロジェクト

<内容>

個人がハイブリッド車、プラグインハイブリッド車及び電気自動車を購入する場合、購入費用を助成し、県内におけるクリーンエネルギーカーの普及促進を加速させます。



ハイブリッド車等の購入

補助

【備考】

H21 取組開始

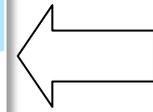
アクション NO.10 「住宅用太陽光発電普及促進」プロジェクト

<内容>

個人が住宅用太陽光発電システムを導入する場合、購入費用を助成し、県内における住宅用太陽光発電の普及促進を図ります。



太陽光発電システムの導入



補助

【備考】

H21 取組開始

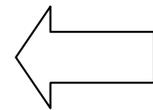
アクション NO.11 「民生用燃料電池普及促進」プロジェクト

<内容>

個人が民生用燃料電池を導入する場合、購入費用を助成し、県内における民生用燃料電池の普及促進を図ります。



民生用燃料電池の導入



補助

【備考】

H21 取組開始

(3) 企業の率先行動を“支援する”

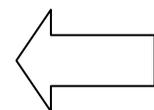
アクション NO.12 業務用トラック等「エコ化」促進プロジェクト

<内容>

県内に本支社を置く事業者が、県内で車両登録をする業務用トラック等をハイブリッド車等買い換える場合に、購入費用を助成し、県内における業務用トラック等の「エコ化」を支援します。



ハイブリッド車等の購入



補助

【備考】

H21 取組開始

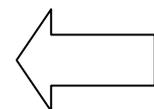
アクション NO.13 県内工場・事業所「太陽光発電普及促進」プロジェクト

<内容>

県内の工場や事業所等が国の補助金等を活用して太陽光発電設備を導入する場合等に、県でも独自に助成し、県内の工場や事業所等への太陽光発電設備の普及促進を図ります。



工場・事業所の
太陽光発電設備の導入



補助

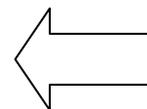
【備考】

H21 取組開始

アクション NO.14 「クリーンエネルギー製品導入促進」プロジェクト

<内容>

県内の工場や事業所等が長寿命のクリーンエネルギー製品（例えば蛍光灯型 LED 照明等）を導入することにより廃棄物の削減にも結びつく場合等への助成制度を創設し、クリーンエネルギー製品の導入支援と産業廃棄物の発生抑制も併せて実践する取組を支援します。

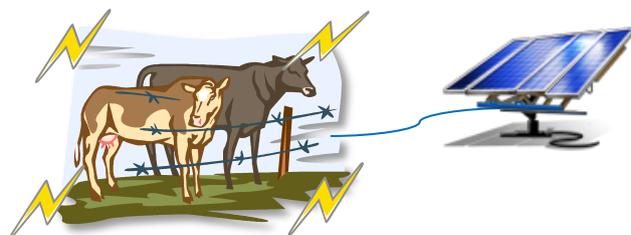


工場・事業所内への
クリーンエネルギー製品の導入
→廃棄物の発生抑制

アクション NO.15 ソーラー電牧普及活用支援プロジェクト

<内容>

農家等が、牛の放牧を簡易に行えるよう、ソーラーバッテリーを活用した電気牧柵等の施設整備を行う場合に、事業の紹介や技術指導等を通じて、農家等におけるクリーンエネルギーの利活用を促進・支援します。



ソーラーバッテリーを活用した
電気牧柵

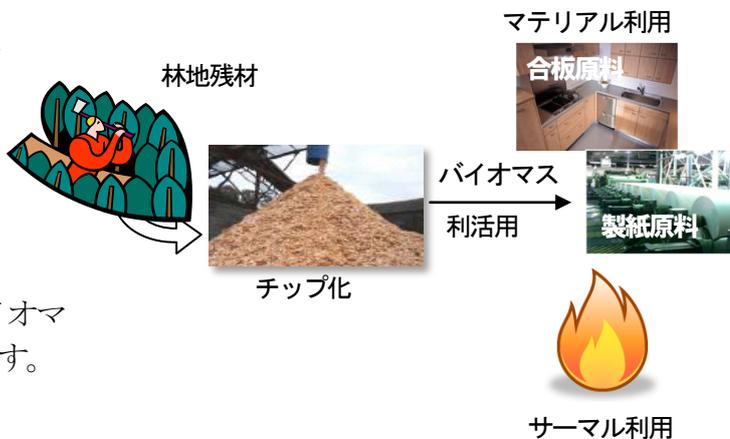
アクション NO.16 木質バイオマス利活用プロジェクト

<内容>

未利用のバイオマス資源である林地残材の県内での有効活用システムの構築を行います。具体的には、

- ①ストックヤードの整備
- ②林地残材の搬出
- ③林地残材の搬出路開設

等に対して助成を行うことにより、バイオマス資源等の有効活用を積極的に支援します。



【備考】

H21 取組開始

クリーンエネルギーみやぎ創造プラン

編集・発行

宮城県環境生活部環境政策課

〒980-8570

仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2664

FAX 022-211-2669

E-mail kankyoi@pref.miyagi.jp

URL <http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-s/>